

第36回曾慶地区芸能祭を開催

多彩な演目 華やかな舞台



曾慶保育園児の元気なダンス



素晴らしいハーモニーのProva

11月24日、曾慶地区センターを会場に「第36回曾慶地区芸能祭」が開催されました。昨年に引き続き午後からの開催となった芸能祭では、保育園児の元気なダンスでスタート。続いてのミニコンサートでは混声合唱団Provaが素晴らしいハーモニーを響かせるなど、各自治会等からは趣向を凝らしたパフォーマンスが次々と出されました。また、民謡や舞踊団体などが日ごろの稽古の成果を発揮し、昨年以上回る21演目が繰り広げられ、約230人の来場者は華やかで多彩なステージを楽しみました。その様子を写真で紹介いたします。



そげっば通信

●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

12月

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-34-6630
Email: info@yuin-et-sogei.com



2区自治会



1区自治会



13区自治会



5区自治会



4区自治会



前の沢自治会



オカリナサークル ハピネス



JA女性部



7区部落会



大トリを務めた佐藤正夫さんと曾慶民謡会の皆さん



穂玖扇志穂舞(ゆほま)さんと穂玖扇舞史葉(ふみよう)さん



岩渕てるみさん



佐藤ふじ子さん



小山ケイさん



菊池正子さん

わぎゃすたーSがクリスマスイベントを開催

「大かくれんぼ大会」で大興奮!

曾慶若者会議わぎゃすたーS主催によるクリスマスイベントが12月21日に曾慶地区センターを会場に開催されました。今回の目玉ゲーム「大かくれんぼ大会」では、地区センターの各所に隠れた8人のスタッフを探し出すゲーム。他にも射的やひもくじ、風船くじなど多彩なゲームで交流した子どもたちは、ちょっと早いクリスマスを楽しみ、館内には元気な歓声や笑い声が響き渡りました。



あ〜見つけた!



高校生もスタッフで参加



いろいろなゲームで楽しく交流しました。



イベントの成功をお祝いし、みんなで記念写真



ヨガで身も心も整え心地よく

12月5日、12日、19日、26日の4回にわたってヨガインストラクターの小野寺留美さんを講師に迎え、ヨガ教室を開催しました。

昨年開催し好評だったヨガ教室。ヨガは、普段使わない部分を伸ばしリンパの流れをスムーズにするため運動不足の解消だけではなく、凝り固まった体をほぐしたり体の冷えや歪みを補正する効果があります。「ヨガのあと体が痛くなるのは効いている証。3日くらいの痛みなら大丈夫」「ヨガは充電である」とのこと。参加者は、体がほぐれ体が軽くなるのを感じながら心地よい汗を流していました。



男性も参加したヨガ教室

結いコン2024「大須賀ひできコンサート」

観客とステージが一体に



サポートメンバーも加わり感動のステージに

12月1日、昨年に引き続き「結いコン2024 大須賀ひできコンサート」が曾慶地区センターを会場に開催され、75人の来場者が訪れて大須賀さんの歌と演奏に感動のひとときを過ごしました。今回の「結いコン」も昨年に引き続き、生涯学習団体のギター同好会が主催し、曾慶市民センターと結いネットそげいが共催して開催しました。今回は大須賀さんのほかにギターの玉木孝治さんとパーカッションのTakutoさんがサポートメンバーとして参加。息の合った演奏でステージと観客が一体となり、来場者からは「感動した」という声が多く聞かれました。

そげい歳時記

曾慶保育園で
クリスマス会



サンタさんから
プレゼントをもら
い喜ぶ園児たち

12月21日に行われた「わぎゃすたーS」によるクリスマスイベントに引き続き、24日には曾慶保育園のクリスマス会が同園で行われました。クリスマスの歌を歌ったり、サンタさんが登場してプレゼントをもらったり、子供たちにとっては楽しいクリスマスの思い出になったようです。

大会の結果 《曾慶体協よりお知らせ》

- ◎12/1 卓球大会の結果
1組4人のリーグ戦（各組1位のみお知らせ）
- ・Aブロック 足利善之(7区)
 - ・Bブロック 小山東治(2区)
 - ・Cブロック 足利宥薫(ひろのぶ)(7区)
 - ・Dブロック 岩淵優士(7区)

《1月の行事予定》

- 1月 8日(水) 曾慶地区新年交賀会
- 1月13日(月) 曾慶地区どんと祭
- 1月23日(木) 行政区長会議

お知らせ

新年交賀会を行います

令和7年の曾慶地区新年交賀会を開催いたします。新年のあいさつを交換し、和やかな懇談の場としたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

- ◆日 程：令和7年1月8日(水) 午後2時～4時
- ◆会 場：曾慶地区センター
- ◆参加費：2,500円（参加者の皆さんには予め会券を購入していただいています）

曾慶地区どんと祭のご案内

曾慶地区どんと祭実行委員会では、下記により「曾慶地区どんと祭」を実施します。御神符、門松、しめ飾り等をお持ちください。御神符(鎮火祭)と甘酒を用意してお待ちしています。1年の無病息災や家内安全を祈りましょう。

なお、あらかじめビニールやプラスチック、金属部分等は取り除いてお持ちください。

- ◆日程：令和7年1月13日(月)
午前10時～御神符等の受付開始
午後1時30分～修祓式
- ◆会場：曾慶地区センター
東側駐車場



音楽喫茶「結」 MusicCafeYui



次の開店は1月25日(土)14:00～16:00です
◎たまには耳なじみの良いクラシックやジャズなどはどうでしょうか？後半は「リクエストコーナー&おしゃべりタイム」とします。土曜日の午後のひととき、真空管アンプでレコード等を聴きながら語り合いませんか？

※ホール西側の玄関よりお入りください。

曾慶地区芸能祭の決算報告

11月26日に行われました「第36回曾慶地区芸能祭」の収支決算がまとまりましたので、報告いたします。

【収入】

項目	決算額	説明
繰越金	125,282	前年度繰越
御花	176,000	来賓・来場者より(計93人)
雑収入	8,017	預金利息・慰労会参加費(500円×16人)
合計	309,299	

【支出】

項目	決算額	説明
交際費	12,000	大東町内各地域芸文協発表会御花代
消耗品	5,658	養生用テープ、コピー用紙等
郵便代	1,100	案内切手
記念品	17,168	園児出演記念品 お楽しみ抽選会用大東商品券
賄い費	34,856	当日来賓・係員飲み物等
御礼	75,000	技術スタッフ、機材借上等
	10,000	出演御礼等
予備費	0	
合計	155,782	

◎ 収支 … 収入－支出＝153,517円（次年度へ繰越とします）

そげいびと

㊟ 足利勲さん(78) ～曾慶字神蔭～



交通安全協会曾慶分会 との関わりは57年にも

いつも柔和な笑顔が印象的な勲さんは昭和42年から交通安全協会曾慶分会の事務局を務め、平成20年からは故山内健吉さんの後任として分会長となり交通安全の普及活動に尽力されています。分会との関わりは57年にもなりますから驚きです。今年10月30日には曾慶地域での交通死亡事故ゼロ8000日を達成し、11月3日に記念セレモニーを行いました。

勲さんは高校卒業後に仙台の経理専門学校に進学。同じ仙台で裁縫の専門学校に入学した妻の千代子さんとの出会いのきっかけにもなりました。帰郷後に東磐運送の人から声をかけられトラックのハンドルを握りセメント輸送の仕事に5年ほどしましたが、その後管理業務に転向。昭和53年には旅客と貨物が分社化され、平成6年に今の会社に出向しました。その年の忘れ

られない出来事は、当時102歳のきんさん、ぎんさんを花巻空港まで迎えに行ったことだそうです。

入社前から曾慶分会の事務局をしていた勲さんですが当時の社長からは「我々は道路を借りて仕事をしているのだから、交通安全はおまえの仕事だ」と言われ、会社の業務の一環として身を入れて取り組むことができた感謝の気持ちをお願いします。

仕事もお世話も全力で

仕事のモットーは「お客さんのためには全力でもてなし」。今年の5月、78歳まで勤め上げ退職された勲さんはこれまで自社ツアー企画の旅行には毎回添乗してきました。一方、仕事の都合上、自身の子どもたちが小さいころの学校行事の思い出はないそうです。

お酒を飲むことや遊ぶことも少なかったと話す勲さんですが、現在も大東高校の同窓会長を務めているほか、小・中・高校の同級会のお世話もそれぞれ全力で行って来ましたが、高校の駅伝仲間との交流もずっと続いています。

安全協会も同窓会も「次の世代への橋渡しが私の役割」と話し、自由な時間が取れるようになった現在の仕事は「畑の管理者」と笑います。カラオケ愛好会「雀の学校」も立ち上げ、月2回の定例会のお世話は新たな仕事。今後は妻の千代子さんと共に「思い出の地を巡る旅をしたい」と語っていた地を巡る旅をしました。

曾慶の人口と世帯数

令和6年12月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	35	26	61
2区	68	89	91	180
3区	50	62	74	136
4区	50	66	72	138
5区	65	78	68	146
6区	40	58	57	115
7区	30	38	40	78
13区	35	48	39	87
こはぎ荘	45	18	27	45
合計	411	492	494	986
前月比	△2	△2	△1	△3



前ノ沢
まへのさわ

曾慶百景

市道白山線を室根山方面に向かって東に進むと、県道江刺室根線と交わるところが「前ノ沢」です。字名としては残っていませんが、安永風土記によると曾慶には前沢、後沢、猫籠の3つの小名が挙げられており、南側全域を前ノ沢と呼んでいました。バス停の名前が前ノ沢に決まったあたりからこれが通常の呼び方になっているようです。バス停以外にも、同待合所、自治会名、マップ等に多数見られ定着ぶりうかがえます。